

5. 総会等報告

(1) 2014 年度地域安全学会総会 報告

1) 2013 年度事業報告

(1) 理事会の開催

2013 年度は理事会を下記のとおり開催した。

第1回 2013年4月13日(土) (東京)

第2回 2013年5月17日(金) (男鹿)、第3回 2013年7月20日(土) (東京)

第4回 2013年9月7日(土) (東京)、第5回 2013年11月15日(金) (静岡)

第6回 2014年1月25日(土) (東京)、第7回 2014年3月22日(土) (東京)

(2) 総会・春季研究発表会・公開シンポジウムの開催

総会・春季研究発表会・公開シンポジウムを下記のとおり開催した。

日時：2013年5月17日(金)～19日(日)

場所：秋田県男鹿市元湯雄山閣

① 一般論文発表：5月17日(金) 13:00-16:40、43件

オーガナイズドセッション型公開研究会

テーマ1：防災まちおこし、復興まちづくり(コーディネーター：市古太郎)

テーマ2：災害時の自治体広域連携(コーディネーター：鍵屋一)

テーマ3：防災教育(コーディネーター：牧紀男)

② 公開シンポジウム：5月18日(土) 13:30-16:00

基調講演：藤村望洋(早稲田エコステーション研究所)

「災害復興から防災まちづくり、観光復興へ」

パネルディスカッション：

コーディネーター：牧紀男(京都大学)

パネリスト：天野荘平(男鹿市菅江真澄研究会)、原田良作(男鹿市総務課)、藤村

望洋(早稲田エコステーション研究所)、渡辺千明(秋田県立大学)

③ 現地見学会：5月19日(日)

(3) 東日本大震災連続ワークショップ 2013 in 大船渡

下記の企画を実施した。

日時：2013年9月21日(土)～22日(日)

場所：岩手県大船渡市 カメリアホール

① 東日本大震災連続ワークショップ：25件

② 被災地および復興状況見学会

(4) 秋季研究発表会の開催

秋季研究発表会を下記のとおり開催した。

日時：2013年11月15日(金)～16日(土)

場所：静岡県地震防災センター

査読論文発表：29件、一般論文ポスター発表：25件

(5) 地域安全学会論文集・梗概集の刊行

- ・春季研究発表会において「地域安全学会梗概集No.32」を刊行した。
- ・秋季研究発表会において「地域安全学会論文集No.19（電子ジャーナル論文）、No.20（電子ジャーナル論文）、No.21（研究発表会論文）」を刊行した。
- ・秋季研究発表会において「地域安全学会梗概集No.33」を刊行した。
- ・地域安全学会論文集No.20、No.22（電子ジャーナル論文）をホームページ上に公開した。

(6) 地域安全学会論文賞・論文奨励賞・年間優秀論文賞の選出

- ・査読論文（電子ジャーナル）No.19(2013.3)、査読論文（電子ジャーナル）No.20(2013.7)および査読論文（研究発表会）No.21(2013.11)に掲載された合計 44 編の論文を対象として、平成 25 年度地域安全学会論文賞の審査を行った。審査会における審議の結果、本年度は「該当なし」となった。
- ・地域安全学会論文集No.21(2013.11)に掲載された論文のうち、地域安全学会論文奨励賞の対象となる 20 編の査読論文に対し審査が行われた。その結果、2 編の論文の筆頭著者が選出された。

①「災害時自治体間援助の全国的実態とその特徴—東日本大震災を対象に—」

山口裕敏(筑波大学大学院システム情報工学研究科)

②「道路網 GIS データに基づく上水道管路の分布推定」

小林朋美(東京ガス株式会社)

- ・査読論文（電子ジャーナル）No.19(2013.3)、査読論文（電子ジャーナル）No.20(2013.3)および査読論文（研究発表会）No.21(2013.11)に掲載された合計 44 編の論文を対象として、平成 25 年度地域安全学会年間優秀論文賞の審査を行った。審査会における審議の結果、本年度は 1 編の論文が選出された。

①「東日本大震災における被災自治体の人的資源運用に関する分析—宮城県石巻市を対象にして—」

佐藤翔輔（東北大学災害科学国際研究所）

(7) 地域安全学会「技術賞」の選出

第 7 回目を迎えた 2013 年度地域安全学会技術賞は、春季大会から 2 件、秋季大会から 1 件、それぞれ応募登録があった。また、学術委員会から 2 件が推薦された。最終的に 4 件の応募書類（1 件は辞退）が提出され、これを対象に審査を行った。審査会における審議の結果、本年度は 1 件が選出された。

①「地震ザブトンの開発と減災啓蒙活動」

黒田真吾（白山工業（株））

翠川三郎（東京工業大学大学院総合理工学研究科）

広瀬茂雄（非会員、東京工業大学名誉教授）

吉田 稔（非会員、白山工業（株））

(8) 地域安全学会「優秀発表賞」の選出

第 32 回（2013 年度）地域安全学会研究発表会（春季）において、43 編の口頭発表が行われ、うち応募登録のあった 7 編を対象として選考を行った。審査の結果、以下の発表を行った 1 名を授賞対象者として選出した。

①「広域巨大災害を想定した市町村長対象の災害対応研修の実践と効果分析—高知県での事例から—」

石川永子(人と防災未来センター)

第33回(2013年度)地域安全学会研究発表会(秋季)において、26編の一般論文のポスター発表が行われ、うち応募登録された6編を対象として選考を行った。審査の結果、以下の発表を行った3名を授賞対象者として選出した。

- ①「防犯カメラ映像を利用した集客施設での地震時の人間行動の分析映像のトラッキングに基づく時系列スライドの作成」
沖祐哉(東京工業大学大学院人間環境システム専攻)
- ②「東日本大震災復興過程における仮設住宅団地の支援事業に関する研究—大船渡市における北上市沿岸被災地仮設住宅運営支援事業を対象に—」
支援(首都大学東京大学院都市環境科学研究科)
- ③「東日本大震災における避難行動・避難生活に関する教訓継承の取組 岩手県大船渡市綾里地区の事例」
馬場拓矢(常葉大学社会環境学部)

(9) ニュースレター発行とホームページ管理

2013年度はニュースレターNo.83-No.86の計4号を発行し、学会ホームページ上に掲載した。今後、学会の広報活動の柱としてホームページを位置づけ、引き続き内容の充実を図っていくこととした。

(10) 会員メーリングリストによる情報提供

会員への迅速な情報発信を目指して、メールによる情報配信を行った。個人情報保護を考慮しつつ、効率的な会員サービスと会員管理を進めた。

(11) 企画研究小委員会研究活動

企画研究小委員会において2テーマについて研究活動を実施した。

(12) 東日本大震災関連活動

- 1) 岩手県大船渡市において「東日本大震災連続ワークショップ2013 in 大船渡」を開催した。
- 2) 東日本大震災特別委員会ワークショップにおいて「地域安全学会東日本大震災特別論文集 No. 2」を刊行した。

(13) 国際学術交流

第3回国際都市防災会議開催に向けて、2013年3月に盛岡、同年7月に米国コロラド州ブルームフィールド、同年11月に台南・高雄にて準備のためのワークショップを開始した。11月の台湾ワークショップでは、1999年集集地震からの復興と2009年台風モロcottからの復興に関する現地フィールド調査も併せて実施した。第3回国際都市防災会議は2014年9月28日~10月1日にかけて米国コロラド州ボルダーで開催することを決定した。また、第2回アジア都市防災会議は、2014年11月21日・22日の両日にわたり台北にて開催することも台湾危機管理学会との調整の上決定した。

(14) 防災学協会連合組織への参加

日本学術会議主催シンポジウム(2013年12月2日(月))「南海トラフ地震に学界はいかに向き合うか」に宮野会長が参加し、テーマ2「発災時の対応と備え」において、地域安全学会による東日本大震災への取り組みについて報告した。

(15) シンポジウム等の共催・参加

2013年7月開催の安全工学シンポジウムを共催した。

このシンポジウムは、日本学術会議主催であり、安全工学に関する各分野における問題点提起、優れた研究成果の講演と技術交流により、安全工学および関連分野の発展に寄与することを目的とし、特別講演をはじめオーガナイズドセッション、パネルディスカッション、一般講演等が開催された。

(16) 役員選挙の実施

2014年度新役員選挙を実施し、理事16名、監事1名を選出した。

(17) 会員数および年会費納入（2014年3月末）

	会員数	2013年度 会費納入状況
賛助会員	0	0
正会員	565	450
学生会員	88	51

補足：会費の納入について

- ・2014年度の会費納入方法変更のお知らせは4月に発送済み。

2) 2013 年度決算

決算に関して、井野監事および山崎監事による監査を受けた。指摘された修正を取り入れた以下の決算報告に対して承認をいただいている。

貸借対照表 (2014年3月31日現在)

(単位：円)

資産の部		負債及び正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
現金	141,451	未払金	992,197
		預り金	7,656
普通預金	1,883,518	前受金	17,000
商品	1,767,068		
未収会費	629,000		
未収入金	85,075		
ソフトウェア	284,592	負債合計	1,016,853
		その他一般正味財産	3,773,851
		正味財産合計	3,773,851
資産合計	4,790,704	負債・正味財産合計	4,790,704

損益計算書

(2013年4月1日～2014年3月31日)

(単位：円)

科 目	金 額
I 収入	
1 会費収入	3,097,000
2 寄付金収入	3,096,689
3 受取助成金等	591,332
4 事業収入	
ア 梗概集登載料	777,500
イ 梗概集販売料	226,050
ウ 論文登載料	1,155,000
エ 論文査読料	875,000
オ 論文集販売料	303,075
カ DVD販売料	30,350
5 雑収入	
ア 懇親会費	720,000
イ 視察費	104,000
ウ その他	60,300
6 受取利息	398
収入合計	11,036,694
II 支出	
1 人件費	92,000
2 通信・広報費	187,264
3 印刷・編集費	1,835,354
(印刷編集費棚卸対応分)	-630,998
4 会議費	196,400
5 旅費交通費	1,770,403
6 交際費	818,406
7 委託費	1,024,650
8 消耗品費	31,501
9 事務用品費	82,121
10 減価償却費	71,148
11 支払手数料	36,172
12 謝金	140,000
13 補助等	495,000
14 事務局費	730,000
15 租税公課	64,772
16 運営費	183,750
17 雑費等	134,900
支出合計	7,262,843
差引	3,773,851
前期繰越金額	0
次期繰越金額	3,773,851

2013年度地域安全学会収支計算書

(2013年4月1日～2014年3月31日)

収入の部

(単位：円)

科 目	①予算	②決算	比較 ①-②	備 考
(1) 一般事業				
会 費 収 入	2,660,000	2,468,000	192,000	25年度会費入金分(過年度含)(25年度会費未収分:629,000除く)
販 売 収 入	50,000	30,350	19,650	DVD販売料
小 計	2,710,000	2,498,350	211,650	
(2) 総会及び春の研究発表会				
梗概集登載料	400,000	307,500	92,500	登載料(ページ数対応5,000円/2ページ)
梗概集頒布	120,000	72,350	47,650	4,000×16部
懇 親 会 費	260,000	247,000	13,000	一般6,000×40名、学生2,000×10名
小 計	780,000	626,850	153,150	
(3) 東日本大震災連続ワークショップ				
梗概集登載料	275,000	220,000	55,000	登載料(ページ数対応5,000円/2ページ)
梗概集頒布	80,000	33,000	47,000	1冊:3,000
懇 親 会 費	350,000	201,000	149,000	正会員6,000×32名、学生3,000×3名
小 計	705,000	454,000	251,000	
(4) 秋の研究発表会				
梗概集登載料	350,000	250,000	100,000	登載料(ページ数対応5,000円/2ページ)
梗概集頒布	200,000	120,700	79,300	1冊:4,000円、送料
懇 親 会 費	340,000	272,000	68,000	正会員6,000×39名、学生2,000×19名
小 計	890,000	642,700	247,300	
(5) 論文集の刊行				
論文査読料	900,000	875,000	25,000	査読料:1編10,000円
論文登載料	1,500,000	1,155,000	345,000	登載料(2万円+5,000円/2ページ)
論文集頒布	240,000	303,075	▲ 63,075	1冊:4,000円、送料
小 計	2,640,000	2,333,075	306,925	
(6) その他				
前期繰越金	1,960,619	0	1,960,619	
雑収入	600	2,716,649	▲ 2,716,049	寄付金収入:1,960,619(商品分:1,136,070除く)、受取助成金、受取利息
小 計	1,961,219	2,716,649	▲ 755,430	
合 計	9,686,219	9,271,624	414,595	

支出の部

(単位：円)

科目	①予算	②決算	比較 ①-②	備 考
(1) 総務・広報				
1) 選挙管理委員会	100,800	0	100,800	
2) 理事会	600,000	870,990	▲ 270,990	理事会会場費、理事会参加のための交通費
3) 総会	150,000	138,391	11,609	総会の案内状印刷・送料、事務局員の交通費
4) 広報委員会				
サーバー・HP運営改修費	500,000	505,740	▲ 5,740	4-9月HP情報更新費、HPリニューアル費
5) 事務局				
事務局委託費	600,000	730,000	▲ 130,000	委託費月5,250円 H25年4月～H26年3月
財務管理委託費	300,000	262,500	37,500	委託費月26,250円 H25年6月～H26年3月
管理用データベース運用費	100,000	0	100,000	
送料・振込手数料	150,000	170,921	▲ 20,921	切手代、送料、電話代等、銀行振込手数料
事務消耗品費	100,000	111,628	▲ 11,628	消耗品、10万円以下の備品、事務用文具等
諸経費	200,000	79,000	121,000	監査の会場代、事務局員の懇親会参加費、講師への謝金
小 計	2,800,800	2,869,170	▲ 68,370	
(2) 学術・国際				
1) 学術委員会				
会場費	120,000	0	120,000	
学術委員会旅費	300,000	287,612	12,388	学術委員会参加のための旅費
論文投稿システム運用費	450,000	400,050	49,950	システム運営・サーバー保守等委託費
電子ジャーナル論文運用費	600,000	212,100	387,900	システム運営・改修等委託費(2回分)
論文集印刷費	1,400,000	1,177,260	222,740	300部
通信費	30,000	36,195	▲ 6,195	切手代、論文集送料等
業務支援作業報酬	100,000	0	100,000	
2) 表彰委員会				
メダル作成費他	40,000	7,965	32,035	メダル作成代、賞状作成代
3) 国際交流委員会				
運営費	100,000	475,000	▲ 375,000	第3回国際交流会議参加のための旅費の補助
小 計	3,140,000	2,596,182	543,818	
(3) 研究発表会				
1) 春季研究発表会				
梗概集作成費	250,000	276,874	▲ 26,874	150部
事前打ち合わせ旅費	50,000	36,330	13,670	
運営費	300,000	578,610	▲ 278,610	アルバイト費、謝金、交通費等
懇親会費	350,000	225,205	124,795	
2) 秋季研究発表会				
梗概集作成費	300,000	81,721	218,279	70部
会場設営費	300,000	185,744	114,256	ポスター発表用パネル設置、文房具類等
運営費	300,000	164,520	135,480	アルバイト費、謝金、交通費等
懇親会費	400,000	365,557	34,443	
3) 安全工学シンポジウム				
会議旅費	10,000	28,120	▲ 18,120	
共催金	20,000	20,000	0	
4) 東日本大震災連続ワークショップ				
梗概集作成費	250,000	157,773	92,227	100部
運営費	300,000	190,670	109,330	謝金、交通費等
懇親会費	350,000	221,644	128,356	
小 計	3,180,000	2,532,768	647,232	
(4) 研究運営費				
1) 企画研究				
運営費	150,000	115,541	34,459	交通費、宿泊費、ガソリン代等
小 計	150,000	115,541	34,459	
(5) その他				
地方税等	80,000	64,772	15,228	源泉所得税、収入印紙代等
予備費	309,069	0	309,069	
小 計	389,069	64,772	324,297	
合 計	9,659,869	8,178,433	1,481,436	

2014年5月14日

上記の通り収支決算を報告いたします。

地域安全学会

監事 井野 盛夫

監事 山崎 文雄



3) 会費の変更

地域安全学会は、春と秋の研究発表会の実施、および論文集の刊行や国際都市防災会議・アジア都市防災会議の共催による国際学術交流を行うことにより会員の研究活動を支援するとともに、春の総会時におけるシンポジウムや東日本大震災連続ワークショップを会員以外にも公開で開催することなどで社会貢献にも努めてきた。

一方、2013年4月の一般社団法人化に伴い、事務局の交代や財務管理の外部委託など学会としての組織体制を整備してきた。このような組織改編や様々な事業への取り組みによる経費増については当面、繰越金で対応してきたが、今後の安定した学会運営を考える時、主たる財源である会費を下記のように変更したい。

参考:2013年度の実質の収支

9,271,624	-	1,960,619	-	8,178,433	=	△867,428
収入		寄付金収入 任意団体からの引継ぎ		支出		残

なお、今後も会員や社会への貢献を充実させるとともに外部資金の獲得を図るなど、一層の努力を継続していく。

<変更案>

会費

正会員：新年会費 7,000円（現行 5,000円）

学生会員：変更なし（現行 2,000円）

実施時期

2015年度会費（2015年4月1日）から

4) 2014 年度役員の改選結果

(1) 改選対象役員

1) 理事

市古 太郎	首都大学東京大学院都市環境科学研究科
糸井川 栄一	筑波大学システム情報系
大西 一嘉	神戸大学大学院工学研究科
大原 美保	東京大学生産技術研究所
岡田 成幸	北海道大学大学院工学研究科
柄谷 友香	名城大学都市情報学部
佐土原 聡	横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院
田中 聡	常葉大学大学院環境防災研究科
牧 紀男	京都大学防災研究所
松岡 昌志	東京工業大学大学院総合理工学研究科
宮野 道雄	大阪市立大学大学運営本部
村上 ひとみ	山口大学大学院理工学研究科
森 伸一郎	愛媛大学大学院理工学研究科

2) 監事

井野 盛夫	常葉大学
-------	------

以上 14 名

(2) 選出役員

規程により以下の理事，監事を無投票で選出した。

1) 理事

市古 太郎	首都大学東京大学院都市環境科学研究科
糸井川 栄一	筑波大学システム情報系
梅本 通孝 [#]	筑波大学システム情報系
大西 一嘉	神戸大学大学院工学研究科
大原 美保	東京大学生産技術研究所
岡田 成幸	北海道大学大学院工学研究科
柄谷 友香	名城大学都市情報学部
鎌田 泰子 [#]	神戸大学大学院工学研究科
田中 聡	常葉大学大学院環境防災研究科
西川 智 [#]	独立行政法人・水資源機構
秦 康範 [#]	山梨大学工学部
牧 紀男	京都大学防災研究所
松岡 昌志	東京工業大学大学院総合理工学研究科
宮野 道雄	大阪市立大学大学運営本部
村上 ひとみ	山口大学大学院理工学研究科
森 伸一郎	愛媛大学大学院理工学研究科

2) 監事

井野 盛夫	常葉大学
-------	------

以上 17 名

([#]2014 年度新規選出)

5) 2014 年度事業計画

(1) 理事会の開催

2014 年度は理事会を下記のとおり開催する。

第1回 2014 年 5 月 16 日(金)神戸(兵庫県立大学防災教育センター&人と防災未来センター)

第2回 2014 年 7 月 19 日(土)東京(同志社大学東京オフィス)

第3回 2014 年 9 月 20 日(土)東京(同志社大学東京オフィス)

第4回 2014 年 11 月 7 日(金)静岡(静岡県地震防災センター)

第5回 2015 年 1 月 24 日(土)東京(同志社大学東京オフィス)

第6回 2015 年 3 月 28 日(土)東京(同志社大学東京オフィス)

(2) 総会・春季研究発表会・公開シンポジウムの開催

総会・春季研究発表会・公開シンポジウムを下記のとおり開催する。

日時:2014 年 5 月 16 日(金)～17 日(土)

場所:兵庫県立大学防災教育センター&人と防災未来センター

(〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2)

(3) 東日本大震災連続ワークショップ 2014 in 宮古 の開催

日時:2014 年 10 月 18 日(土)～19 日(日)

場所:岩手県宮古市

- ・東日本大震災特別委員会ワークショップ
- ・懇親会・被災地および復興状況見学会

(4) 秋季研究発表会の開催

秋季研究発表会を下記のとおり開催する

日時:2014 年 11 月 7 日(金)～8 日(土)

場所:静岡県地震防災センター

(5) 地域安全学会論文集・梗概集の刊行

春季研究発表会において「地域安全学会梗概集 No. 34」を刊行し、優秀発表賞を選出する。

東日本大震災特別委員会ワークショップにおいて「東日本大震災特別論文集 No.3」を刊行する。

秋季研究発表会において「地域安全学会論文集 No.22、No.23、No.24」を刊行し、地域安全学会論文奨励賞を選出する。

秋季研究発表会において「地域安全学会梗概集 No.35」を刊行し、優秀発表賞を選出する。

地域安全学会論文集 No.23(電子ジャーナル論文)、同 No.25(電子ジャーナル論文)をホームページ上で公開する。

本年度の論文集(No.22, No.23, No.24)を対象に地域安全学会論文賞および年間優秀論文賞を選出する。

(6) 広報活動の強化と会員管理

サービスの向上を目指して、会員へのメールによる各種情報配信、ホームページによる情報提供、印刷物による情報発信について、各々の機能分化した情報提供を実施する。

(7) 地域安全学会技術賞の選出

表彰委員会において第 8 回地域安全学会技術賞の選考を行う。

(8) 企画研究小委員会活動

企画研究小委員会において 2 テーマについて研究活動を実施する。

(9) 国際学術交流

第 3 回国際都市防災会議(2014 年 9 月 28 日～10 月 1 日、米国・ボウルダー)を共催する。

また、第 2 回アジア都市防災会議(2014 年 11 月 20 日～21 日、台湾・台北)を共催する。

(10) 役員選挙の実施

2015 年度新役員選挙を実施し、理事 12 名、監事 1 名を選出する。

(11) 東日本大震災に関する支援・研究活動の推進

東日本大震災特別委員会による被災地支援・研究活動の実施、東日本大震災学協会連絡協議会への参画を行う。

6) 2014 年度予算

2014年度地域安全学会予算

(2013年4月1日～2014年3月31日)

(単位：円)

科 目	金 額
I 収入	
1 会費収入	2,660,000
2 寄付金収入	0
3 受取助成金等	360,000
4 事業収入	
ア 梗概集登載料	1,025,000
イ 梗概集販売料	260,000
ウ 論文登載料	1,500,000
エ 論文査読料	900,000
オ 論文集販売料	240,000
カ DVD販売料	50,000
5 雑収入	
ア 懇親会費	860,000
イ 視察費	0
ウ その他	0
6 受取利息	5,000
収入合計	7,860,000
II 支出	
1 人件費	60,000
2 通信・広報費	296,960
3 印刷・編集費	1,900,000
(印刷編集費棚卸対応分)	-
4 会議費	290,000
5 旅費交通費	1,424,000
6 交際費	866,000
7 委託費	1,074,000
8 消耗品費	35,000
9 事務用品費	85,000
10 減価償却費	-
11 支払手数料	35,000
12 謝金	50,000
13 補助等	20,000
14 事務局費	648,000
15 租税公課	70,000
16 運営費	550,000
17 雑費等	270,000
99 予備費	186,040
支出合計	7,860,000

7) 役員選挙規程の改訂

地域安全学会役員選挙規程

地域安全学会

(総則)

第1条 この規程は地域安全学会(以下本会という)において、総会で選任される役員(理事及び監事)の候補者の選挙に適用する。

(選挙管理委員会)

第2条 この規程による選挙は、「選挙管理委員会」が、これを管理する。

2 選挙管理委員会は理事会の承認をもって設置し、理事会が指名する選挙管理委員長と副委員長及び委員数名をもって構成する。

(選挙権、被選挙権)

第3条 投票締切日の前月1日から引き続き投票締切日まで正会員(正会員とは、学生会員、賛助会員以外の会員を言う)である者は、当該する役員選挙の選挙権、被選挙権を有する。

(選挙役員の所定数)

第4条 理事会は、会則に基づき、次期役員のうち選挙対象の役員の所定数を確認し、選挙管理委員会に通知する。

(役員選挙の通知)

第5条 選挙管理委員会は、候補者届出開始日とその締切日、投票開始日とその締切日を定め、次期役員の所定数を合わせ、正会員に事前に通知しなければならない。

(候補者)

第6条 役員に立候補する者は、3名以上の正会員よりなる推薦人の名簿と推薦理由を添えて、選挙管理委員会に届け出ることとする。

第7条 候補者の届出が、指定した期日までに行われない場合、もしくは候補者が所定数に満たない場合は、理事会は速やかに候補者を選定するものとする。

(候補者および有権者名簿)

第8条 選挙管理委員会は、候補者の届出終了後速やかに候補者名簿および有権者名簿を作成する。名簿は、投票開始日時から投票締切日まで本会事務局に備え付け、会員の閲覧に供する。候補者名簿には、候補者氏名、推薦人氏名、候補者の立候補理由または推薦人の推薦理由を記

載する。

(投票および開票)

第9条 選挙は、候補者名簿に記載された候補者に対する無記名投票によって行い、第4条に定められた所定数までの連記とする。

第10条 投票用紙と郵送用封筒は、選挙管理委員会が正会員に郵送する。投票は、所定の投票用紙を所定の封筒に入れ、指定された投票先に、別に定める日時までに郵送により行う。この時、所定の封筒には有権者の氏名を自署する。

第11条 選挙管理委員会は、投票終了後速やかに開票を行う。

第12条 候補者が所定数に満たない又は同数の場合には、候補者全員を無投票当選とする。

(有効および無効票の判定)

第13条 以下の投票は、無効とする。

- (1) 正規の投票用紙および封筒を用いないもの。
- (2) 郵送用の封筒に、有権者の氏名が記載されていないもの。
- (3) 郵送用の封筒に、複数枚の投票用紙が封入されているもの。
- (4) 規定の数を超えて候補者名を記載したもの。

(当選者の決定)

第14条 有効投票数の多い者から、順次所定数に充つるまで当選者とする。

2 有効投票数が同数の場合は、年齢の若い候補者から順次当選者とする。

(選挙結果の通知)

第15条 選挙管理委員会は、開票終了後速やかに会員に選挙結果を通知する。

(その他)

第16条 役員選挙に関し本規程に定めがないことについて問題が生じた場合には、会長が専決し処理に当たる。なお、会長は直近の理事会において専決処理事項を報告し、承認を得るものとする。

付則

- 1 この規程は、2005年5月13日から施行する。
- 2 この規程の改廃は総会の議を経なければならない。
2005年5月13日制定(総会承認)
2006年5月20日改訂(総会承認)
2014年5月16日改訂()

8) 主たる事務所の所在地の変更

地域安全学会の事務局を委託している株式会社サイエンスクラフトが、東京都新宿区から東京都千代田区へ移転したことに伴い、地域安全学会の主たる事務所の所在地も変更となった。これに伴い、定款の第3条を下記のように変更したい。

(主たる事務所の所在地)

第3条 本法人は、主たる事務所を東京都千代田区に置く。